GAUDI

デジタルフォトフレーム

取扱説明書

GHV-DF7C シリーズ

Ver.1.0

・本製品は日本国内専用に製造および販売されています。
・本製品は日本国外では使用できません。
・日本国外で使用された製品によるいかなる問題に対しても弊社は責任を負いかねます。
・日本以外の国での製品の技術サポートおよびサービスは一切行なっておりません。

・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
・This product can not be used outside Japan.
・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

設置の手順

付属品を確認してください。
（1 ページ）

↓

本取扱説明書に書かれている安全上のご注意、使用上のお願いをよくお読みください。
（3 ～ 12 ページ）

↓

各モードの操作方法をよくお読みください。
（17 ～ 28 ページ）

↓

実際に製品をご使用ください。

付属品の確認

パッケージの中に以下のものがすべてそろっている事をご確認ください。

- ●GHV-DF7C　本体　1 台
- ●専用リモコン　1 台
- ●スタンドバー　1 個
- ●１年間保証書　1 部
- ●専用 AC アダプタ　1 個
- ●リモコン用ボタン電池　1 個
  型番：CR2025 (3V)
- ●取扱説明書（本書）　1 部

目次

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

なお、⚠注意に記載された事項、及び本文中の注意事項でマークの無い注意事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。必ず「ご使用上の注意」を守ってください。

■絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（もし異常が起こったら）

プラグを抜く

●煙が出ていたり、変なにおいや音がするときは、すぐに電源スイッチをオフにし、専用ＡＣアダプタをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、販売店または弊社カスタマサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜く

●内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源スイッチをオフにし、専用ＡＣアダプタをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。

プラグを抜く

●落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチをオフにし、専用ＡＣアダプタをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。

プラグを抜く

●専用ＡＣアダプタのコードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、すぐに電源スイッチをオフにし、コードや電源プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。

警告

電源について

100V以外禁止

●専用ＡＣアダプタを必ず交流１００ボルト（５0/６0Ｈｚ）のコンセントに接続する

交流１００ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。また、たこ足配線等で、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。発熱による火災の原因となります。

禁止

●国外で使用しない

この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

プラグを抜く

●専用ＡＣアダプタの１００Ｖ入力端子および端子の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。また、電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。　年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。

禁止

●専用ＡＣアダプタのコードの上に重いものをのせない

コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

●専用ＡＣアダプタのコードは

・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない

・引っ張ったり、はさんだりしない

・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店または弊社カスタマサポートに交換をご依頼ください。

設置について

禁止

●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本機が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

風呂場·シャワー室での使用禁止

●風呂場・シャワー室など、水のかかる恐れのある場所では使用しない

火災・感電・また故障の原因となります。

水ぬれ禁止

●水が入ったり、ぬらさないようにする

本機は屋内専用に設計されております。ぬらさないようにご注意ください。　内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

使用について

分解禁止

●修理・改造・分解はしない

本機のキャビネットを外したり、改造したりしないでください。内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または弊社カスタマサポートにご依頼ください。

ぬれ手禁止

●ぬれた手で専用ＡＣアダプタの電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

禁止

●異物を挿入しない

各メディアのスロットや通風孔から、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

接触禁止

●雷が鳴り出したら製品本体や専用ＡＣアダプタに触れない

感電の原因となります。

⚠注意

設置について

必ず行う

●専用ＡＣアダプタの電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

禁止

●専用ＡＣアダプタの電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

●専用ＡＣアダプタの電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

●専用ＡＣアダプタの電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

●温度が高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁止

●調理台や加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因となることがあります。　また、たばこの煙なども機器の故障の原因になることがあります。

プラグを抜く

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず専用ＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

使用について

禁止

●長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。

注意

●本機に乗ったりしない

特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

●音量を上げすぎない

音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。　特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

プラグを抜く

●旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず専用ＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、また万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

⚠注意

リモコン用の電池について

禁止

●指定以外の電池は使用しない

●新しい電池と古い電池、種類の違う電池を使用しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

注意

●極性表示（プラス（＋）マイナス（－）の向き）に注意し、表示通りに入れる

間違えると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●長時間使用しない時は、電池を取り出す

●電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った電池は入れておかない

電池を取出す

電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液に直接触れずによくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、液が皮膚や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

禁止

●充電・加熱・分解・ショートしたり、水や火の中に入れない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

保守・点検について

注意

●定期的に通風孔や各メディアのスロットなどのほこりを取り除いてください

ほこりがたまったまま長い時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

注意

●お手入れの際は安全のために、専用ＡＣアダプタの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください

感電の原因となることがあります。

末永くお使いいただくために

衝撃や振動を与えない

●本機に衝撃や強い振動を与えたり、叩いたりしないでください。

動作中に専用 AC アダプタなどを絶対に抜かない

●動作中に専用 AC アダプタの電源コードを抜いてしまうと、本機が故障したり、メディア (SD メモリーカード等) のデータを破損する恐れがあります。動作中には専用 AC アダプタを外さないでください。外す前には必ず電源を OFF にしてください。

置き場所についてのご注意

●本機は水平で安定した場所を選んで設置してください。ぐらぐらする机や、傾いている所など不安定な場所では使わないでください。故障の原因となります。
●本機を設置する場所は、本機の重さに十分に耐えられることを確認してください。
●本機が落下した場合にけがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。ビデオデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
●本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置いた場合、本機を使用中に画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような症状が発生した場合は、テレビやラジオ、ビデオからできるだけ離してください。
●次のような場所は避けてください。

・直射日光のあたる所
・湿気の多い所や風通しの悪い所
・極端に暑い所や寒い所、急激な温度変化のある場所
・振動のある所
・ほこりの多い所
・油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

上に物をのせない

●本機の上に物をのせないでください。

本機を移動する場合のご注意

●本機を移動したり梱包したりする場合は、必ずメディアのスロットにほこりが入らないようにしてください。また各スロットに対応メディアを入れたまま移動しますと、故障の原因となる場合があります。

使わないときは電源を切っておく

●各スロットから対応メディアを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。

●長時間使用しないときは、専用 AC アダプタの電源プラグを抜いてください。

●テレビ放送やラジオ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビやラジオに近づけると、画面にしま模様がでたり、雑音が出たりする場合があります。このような場合は本機の電源を切ってください。

その他のご注意

●殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。

●ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。

●長時間ご使用になっていると、天板や後部が多少熱くなりますが、故障ではありません。

製品のお手入れについて

●キャビネットや操作パネル部分のよごれは、柔らかい布でからぶきしてください。

●よごれがひどい場合は、柔らかい布を水で５～６倍に薄めた中性洗剤に浸して、よく絞ってからよごれをふきとり、その後乾いた布でからぶきしてください。

●アルコール、シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。

●化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

●お手入れの際は、専用 AC アダプタをコンセントから抜いてください。

結露について

結露は対応メディアや本機を傷めます。よくお読みください。

冬季などに本機を寒い所から暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部に水滴がつきます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、本機の専用 AC アダプタの電源コードを抜いた状態で数時間放置し、完全に乾燥するまで待ってから電源を入れてください。また、夏でも、エアコンなどの風が本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は、本機の設置場所を変えてください。

結露はこんなときにおきます。
・本機を寒いところから急に暖かいところに移動したとき
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
・夏季に冷房のきいた部屋や車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。
・結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、本機を構成する部品を傷めることがあります。

免責事項について

●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化·消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

メディアの対応

本機で対応しているメディアは次のものがあります。

・SD メモリーカード	・SDHC メモリーカード
・メモリースティック	・USB フラッシュメモリ

●全ての「SD メモリーカード」「SDHC メモリーカード」「メモリースティック」「USB フラッシュメモリ」の動作保証をするものではありません。
●本機で miniSD カード、microSD カードをご使用される場合は、市販の変換アダプタが必要です。
●MMC（マルチメディアカード）での動作保証はしておりません。
●SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カードは SD Association の商標です。
●SD ロゴ、SDHC ロゴは商標です。

各メディアのお手入れについて

●各メディアの接点に指紋、ほこりなどのよごれが付くと、再生できなくなったり故障の原因となります。このようなときは、柔らかい布で軽く拭いてください。
●シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。
●静電気防止剤などは使用できません。メディアを傷める原因となります。

各メディアの保管について

●高温の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて保管してください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所を避けて保管してください。
●各メディアは必ず専用ケースに入れて保管してください。
●各メディアに付属していている注意書は必ずお読みください。

再生できるファイル

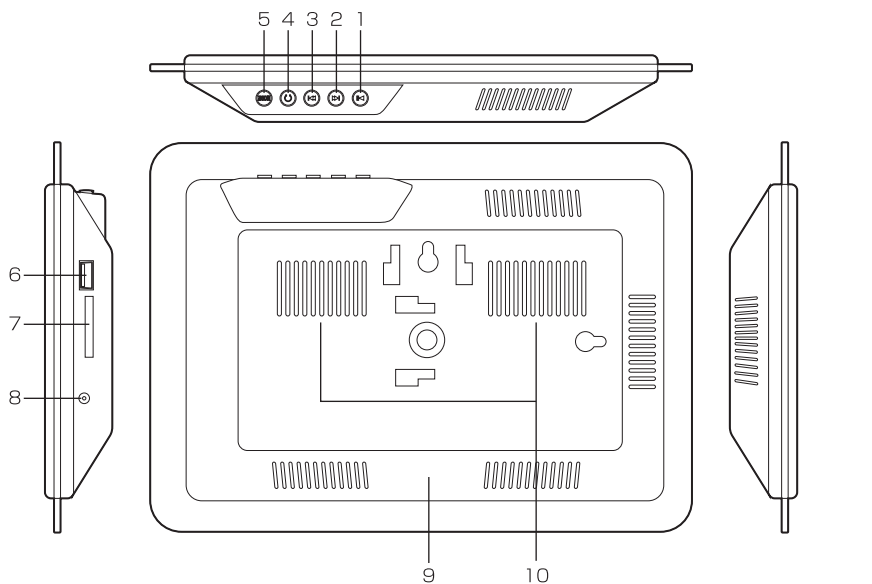
本機で再生できるファイル形式は以下の通りになります。

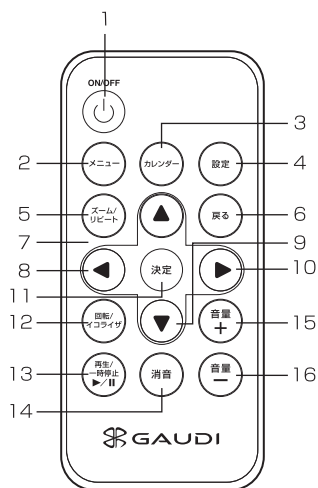
画　像	JPEG、BMP
音 楽	MP3(CBR/VBR)、WMA(CBR)
ムービー	M-JPEG(avi)

●対応形式であっても、全てのファイル再生を保証するものではありません。

著作権について

●テレビ、インターネット、CD などから録画･録音したメディアのコンテンツを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは法律により禁じられています。
●デジタルカメラなどで撮影した画像データは個人として楽しむなど以外、著作権上権利者に無断で使用できません。

各部名称

1：【再生 / 一時停止】ボタン	・・・	再生 / 一時停止をします
2：【早戻し】ボタン	・・・	カーソルの左移動、早戻しをします
3：【早送り】ボタン	・・・	カーソルの右移動、早送りをします
4：【戻る】ボタン	・・・	1 つ前の画面に戻ります
5：【MODE】ボタン	・・・	メインメニュー画面を表示します
6：USB ポート	・・・	USB フラッシュメモリを挿します
7：SD/MS カードスロット	・・・	SD メモリーカード、メモリースティックを挿します
8：DC ジャック	・・・	専用 AC アダプタを接続します
9：リモコン受光部（前面部）	・・・	リモコンから操作を受信します
10：スピーカー	・・・	音声が出力します

リモコン

1：【ON/OFF】ボタン	・・・	電源の ON/OFF（スタンバイ）をします
2：【メニュー】ボタン	・・・	メインメニュー画面を表示します
3：【カレンダー】ボタン	・・・	カレンダーを表示します
4：【設定】ボタン	・・・	設定メニューを表示します
5：【ズーム / リピート】ボタン	・・・	画像のズームとリピートモードの変更をします
6：【戻る】ボタン	・・・	1 つ前の画面に戻ります
7：【上】ボタン	・・・	カーソルが上に移動します
8：【左】ボタン	・・・	カーソルが左に移動します
9：【下】ボタン	・・・	カーソルが下に移動します
10：【右】ボタン	・・・	カーソルが右に移動します
11：【決定】ボタン	・・・	各項目で決定を行います
12：【回転 / イコライザ】ボタン	・・・	画像の回転とイコライザの変更をします
13：【再生 / 一時停止】ボタン	・・・	再生 / 一時停止をします
14：【消音】ボタン	・・・	消音します
15：【音量＋】ボタン	・・・	音量を上げます
16：【音量－】ボタン	・・・	音量を下げます

電源操作

本項目では電源のオン / オフ、スタンバイの操作方法を紹介します。

電源をオンにするには

DC IN

本機右側面の DC ジャックに付属の AC アダプタを接続します。
画面に「GAUDI」のロゴが表示された後、メインメニューが表示されます。

電源をオフにするには

DC IN

スタンバイ状態から本機右側面の DC ジャックを取り外します。

●故障の恐れがありますので、スタンバイ状態から行ってください。

スタンバイ状態にするには

ON/OFF

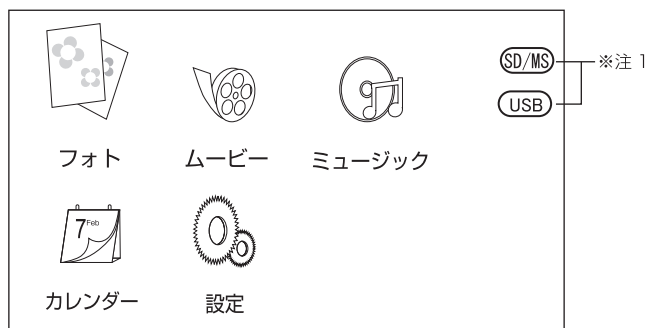
本機の電源がオンの状態からリモコンの【ON/OFF】ボタンを押すとスタンバイにできます。

スタンバイ状態から復帰するには

ON/OFF

本機の電源がスタンバイ状態からリモコンの【ON/OFF】ボタンを押すと復帰できます。

メインメニュー

本機の電源をオンにし、「GAUDI」のロゴが表示された後に表示される画面が、メインメニューです。
リモコンカーソルの【左】/【右】ボタンで各モードを選択して【決定】ボタンを押すと、開くことができます。

フォト	:	画像ファイルのスライドショーを表示します
ムービー	:	動画ファイルの一覧を表示して再生します
ミュージック	:	音楽ファイルの一覧を表示して再生します
カレンダー	:	カレンダーを表示します
設定	:	本機の設定を変更します

●※注 1 については「読み込みメディアの変更」(P.19) にて解説いたします。

各モード時の共通操作

各モードよりメインメニューに戻るには、リモコンの【戻る】ボタン、または【メニュー】ボタンを押してください。

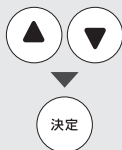
カレンダーを表示するには、リモコンの【カレンダー】ボタンを押してください。各モードからでもボタンを押すと表示できます。

設定画面を表示するには、リモコンの【設定】ボタンを押してください。各モードからでもボタンを押すと表示できます。

読み込みメディアの変更

本項目では「SD メモリーカード」「メモリースティック」「USB フラッシュメモリ」の読み込みメディアの変更方法を紹介します。

「SD メモリーカード」「メモリースティック」は本機の仕様上、同一スロットになりますので、同時挿入はできません。

メインメニューが表示されている状態から、リモコンの【戻る】ボタンを押してください。(P.18)の「※注1」の項目にカーソルが移動します。

USB 「USBフラッシュメモリ」

リモコンカーソルの【上】/【下】ボタンで選択して、【決定】ボタンを押すと選択したメディアが読み込まれます。

●以降の解説については「SD メモリーカード」「メモリースティック」「USB フラッシュメモリ」をメディアと表記いたしますので、ご使用のメディアに置き換えてお読みください。
●全てのメディアの動作を保証するものではありません。

「フォト」モード（基本操作編）

本項目では「フォト」モードの基本操作方法を紹介します。

スライドショーを再生する

メインメニューから「フォト」の項目を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押すとスライドショーが開始されます。

早送り / 早戻しする

スライドショー中にリモコンカーソルの【右】ボタンを押すと、次の画像ファイルが表示されます。【左】ボタンを押すと前の画像ファイルが表示されます。

スライドショーを一時停止する

スライドショー中にリモコンの【再生/一時停止】ボタンを押すと一時停止します。
スライドショーを再開するにはもう一度【再生/一時停止】ボタンを押します。

スライドショーを停止する

スライドショー中にリモコンの【戻る】ボタンを押すとスライドショーが停止します。
停止するとサムネイル表示（画像ファイルの縮小一覧表示）に切り替わります。
サムネイル表示については「サムネイル表示をする」（P.21）をご覧ください。

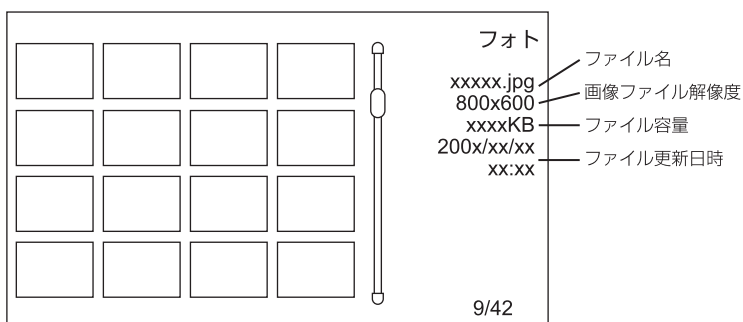
●本機を約 15 秒間操作しないと自動的にスライドショーが開始されます。
●メディアに音楽ファイルが収録されている場合は、同時に再生が開始されます。
本機の仕様上、スライドショー中に音楽ファイルの再生のみは停止できませんので、消音にしたい場合はリモコンの【消音】ボタンを押してください。

「フォト」モード（応用操作編）

本項目では「フォト」モードの応用操作方法を紹介します。

サムネイル表示をする

画像ファイルを縮小一覧表示（サムネイル）ができます。

スライドショー中にリモコンの【戻る】ボタンを押すとスライドショーが停止して、サムネイル表示に切り替わります。

リモコンのカーソルボタンで表示したい画像ファイルを選択して【決定】ボタンを押すとスライドショーが表示されます。

●「フォト」モードを選択した時に、はじめからサムネイル表示させるには「フォト設定」(P.30) をご覧ください。

スライドショーオフ時の機能

本項目ではスライドショーオフ時の機能を紹介します。
スライドショーをオフにするには「フォト」設定（P.30）をご覧ください。

■画像を拡大する

画像表示中にリモコンの【ズーム/リピート】ボタンを押すごとに拡大表示されます。

拡大率は「125%」「150%」「175%」「200%」「225%」「250%」が選択でき、拡大表示中はリモコンのカーソルボタンで表示位置を移動できます。

通常表示に戻るにはリモコンの【戻る】ボタンを押してください。

■画像を回転する

画像表示中にリモコンの【回転/イコライザ】ボタンを押すごとに時計回りに90度ずつ回転します。

■早送り / 早戻しする

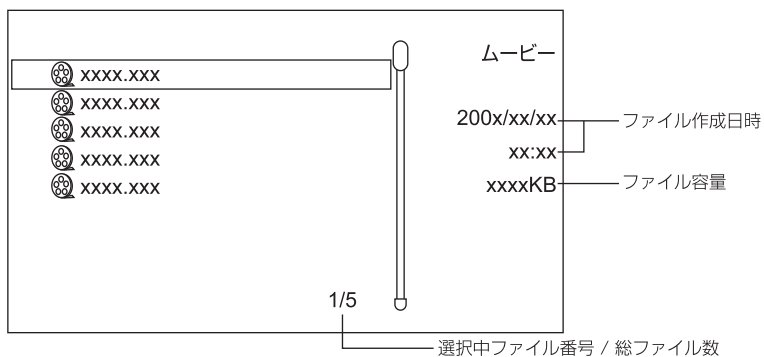
操作方法は「ムービー」モードと同様になります。
「早送り / 早戻しする」（P.24）をご覧ください。

●メインメニュー画面で約 15 秒間操作しないで、自動的にスライドショーが開始された場合「スライドショーオフ」に設定されていても、本機能は適用されません。

「ムービー」モード (操作方法)

本項目では「ムービー」モードの操作方法を紹介します。

再生する

メインメニューから「ムービー」の項目を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押すと動画ファイルの一覧が表示されます。

リモコンのカーソルの【上】/【下】ボタンで再生したい動画ファイルを選択して【決定】ボタンを押すと再生が開始されます。
【再生/一時停止】ボタンでも同様の操作ができます。

一時停止する

動画ファイル再生中にリモコンの【再生/一時停止】ボタンを押すと一時停止します。
通常再生に戻るにはもう一度【再生/一時停止】ボタンを押してください。

早送り / 早戻しする

動画ファイル再生中にリモコンカーソルの【右】ボタンを押すと、早送り再生されます。

同様にリモコンカーソルの【左】ボタンを押すと、早戻し再生されます。
通常再生に戻るにはもう一度リモコンカーソルの【左】/【右】ボタンを押してください。

音量調整する

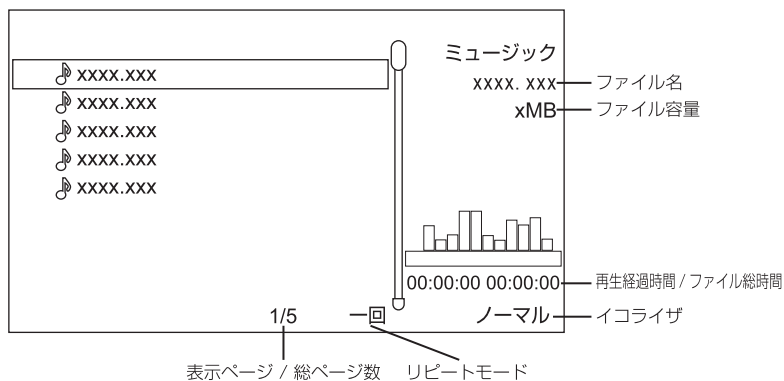
動画ファイル再生中にリモコンの【音量＋】/【音量−】ボタンを押すと 0 〜 10 の間で音量調整できます。

消音にするにはリモコンの【消音】ボタンを押してください。
消音状態を解除するには、もう一度【消音】ボタンを押してください。

「ミュージック」モード (操作方法)

本項目では「ミュージック」モードの操作方法を紹介します。

再生する

メインメニューから「ミュージック」の項目を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押すと音楽ファイルの一覧が表示されます。

操作方法について

操作方法は「ムービー」モードと同様になります。

「一時停止する」(P.23)、「早送り / 早戻しする」（P.24)、「音量調整する」（P.24）をご覧ください。

リピート再生する

音楽ファイル再生中にリモコンの【ズーム/リピート】ボタンを押すごとに以下のリピートモードが選択できます。

リピート	･･･	全ての音楽ファイルを順番に再生し続けます。
一回	･･･	全ての音楽ファイルを再生して停止します。
ランダム	･･･	全ての音楽ファイルをランダム再生し続けます。

音質を変更する（イコライザ機能）

音楽ファイル再生中にリモコンの【回転 / イコライザ】ボタンを押すごとに以下のように音質が変更できます。

「ノーマル」 → 「ロック」 → 「ポップ」 → 「クラシック」 → 「ソフト」 → 「ジャズ」 → 「バス」

「カレンダー」モード (表示方法)

本項目では「カレンダー」の各モードの機能を紹介します。
「モード 1」〜「モード 3」の 3 つの表示が選択できます。
表示の切り替え方法は「カレンダー設定」(P.31) をご覧ください。

●メディアに音楽ファイルが収録されている場合は、同時に再生が開始されます。
本機の仕様上、スライドショー中に音楽ファイルの再生のみは停止できませんので、消音にしたい場合はリモコンの【消音】ボタンを押してください。

●「モード 1」「モード 2」のカレンダー表示中は、メディアに音楽ファイルと画像ファイルが収録されていると、再生とスライドショーが開始されます。リモコンの【再生 / 一時停止】ボタンを押すと一時停止できます。(音楽ファイルと、画像ファイルを別々に操作はできません。)

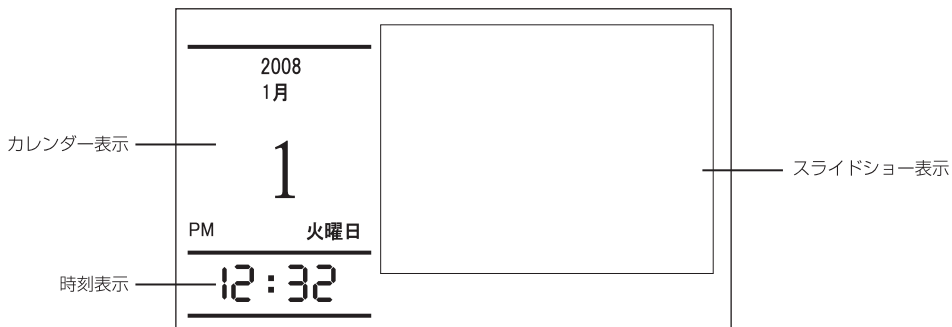
操作方法について

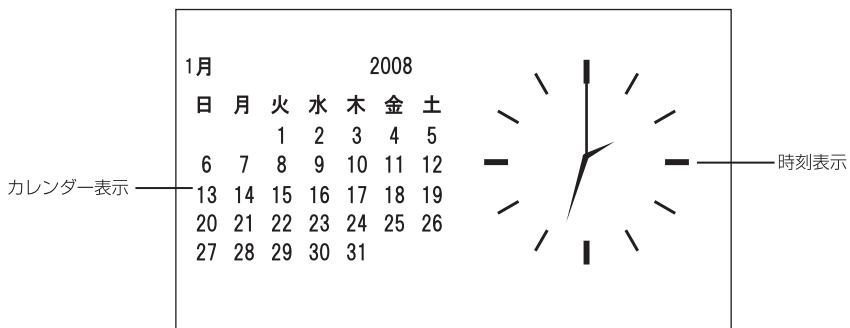
操作方法は「フォト」モード、「ムービー」モードと同様になります。
「早送り / 早戻しする」(P.20)、「スライドショーを一時停止する」(P.20)、「音量調整する」(P.24) をご覧ください。

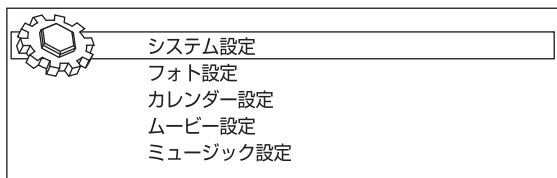
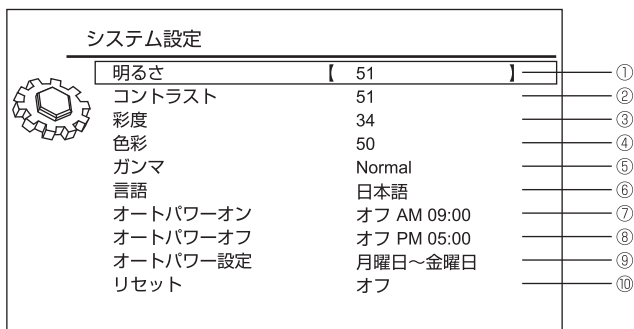
「カレンダー」モード 1 の表示

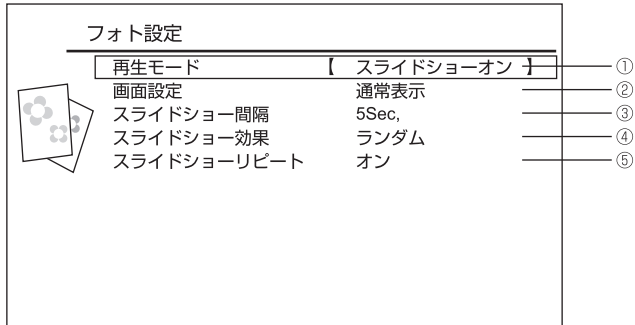
メインメニューから「カレンダー」の項目を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押すとカレンダーが表示されます。
メディアに画像ファイルが収録されている場合は、スライドショーが表示されます。

「カレンダー」モード２の表示

メインメニューから「カレンダー」の項目を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押すとカレンダーが表示されます。

「カレンダー」モード３の表示

メインメニューから「カレンダー」の項目を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押すとカレンダーが表示されます。

設定画面の操作方法

本項目では本機の設定変更の操作方法を紹介します。
メインメニューから「設定」の項目を選択して、リモコンの【決定】ボタンを押すと以下のような設定画面が表示されます。
リモコンの【設定】ボタンでも同様に設定画面が開きます。

システム設定

①:明るさ	・・・	1～100段階で調整できます
②:コントラスト	・・・	1～100段階で調整できます
③:彩度	・・・	1～100段階で調整できます
④:色彩	・・・	1～100段階で調整できます
⑤:ガンマ	・・・	「Normal」「Mode1」「Mode2」「Mode3」が選択できます
⑥:言語	・・・	「英語」「日本語」が選択できます
⑦:オートパワーオン	・・・	「オン」「オフ」と時間を調整できます
⑧:オートパワーオフ	・・・	「オン」「オフ」と時間を調整できます
⑨:オートパワー設定	・・・	「月曜日～金曜日」「土曜日、日曜日」「一回」を選択できます
⑩:リセット	・・・	工場出荷時の設定に戻します

フォト設定

①:再生モード	・・・	「スライドショーオン」「スライドショーオフ」「サムネイル表示」が選択できます
②:画面設定	・・・	「通常表示」「拡大表示」「フルスクリーン」が選択できます
③:スライドショー間隔	・・・	「5Sec」「10Sec」「15Sec」「30Sec」「1Min」「5Min」「15Min」「1Hour」「1Day」が選択できます
④:スライドショー効果	・・・	「ランダム」「オフ」「ボックスワイプ」「スパイラル」「クロス」「グリッド」「ランダムストライプ」「ブラインド」「エレガント」「パーティション」「チェッカーワイプ」が選択できます
⑤:スライドショーリピート	・・・	「オン」「オフ」が選択できます

カレンダー設定

①:再生モード ･･･ 「モード1」「モード2」「モード3」が選択できます

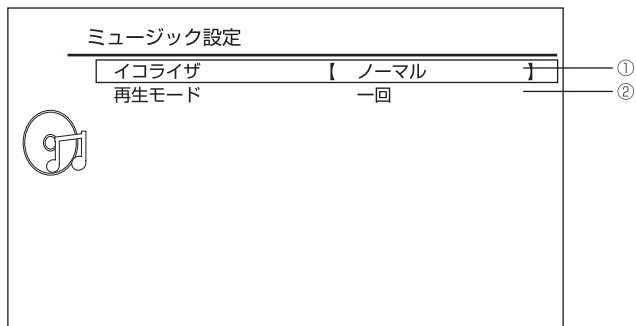
②:日付 ･･･ 日付(年/月/日)が設定できます

③:時刻表示 ･･･ 「12時間表示」「24時間表示」が選択できます

④:時刻設定 ･･･ 時刻が設定できます

ムービー設定

①:再生モード ･･･ 「一回」「リピート」「ランダム」が選択できます

ミュージック設定

①:イコライザ　・・・　「ノーマル」「バス」「ジャズ」「ソフト」「クラシック」「ポップ」「ロック」が選択できます

②:再生モード　・・・　「一回」「リピート」「ランダム」が選択できます

故障かな？と思ったら

電源が入らない	●ACアダプタのプラグをコンセントへしっかりと差し込まれているか確認してください。
映像が映らない	●リモコンを操作して電源を入れたことを確認してください。 ●本機で対応しているメディアとファイル形式か確認してください。
再生できない	●本機で再生できるメディアか確認してください。 ●メディアが汚れていないか確認してください。 よごれている場合は、きれいにふいてください。 ●メディアが正しく本体にセットされているか確認してください。 ●メディアに収録されているファイルが本機で再生できるものか確認してください。 ●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、本体内部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。
音声が出ない	●音量レベルを確認してください。 ●消音になっていないか確認してください。 ●本機で対応しているメディアとファイル形式か確認してください。
リモコンがきかない	●電池の＋、－の向きを確認してください。 ●電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。 ●リモコンを本機の受光部に向けて操作してください。 ●リモコンと受光部の間の障害物を取り除いてください。

仕様

製品型番	GHV-DF7C
スクリーン	7 インチ LCD（16：9）
解像度	480×234 pixels
コントラスト比	300:1
輝度	250cd/ ㎡
再生可能メディア	SD(8MB ～ 2GB)/SDHC(4GB ～ 32GB)/MS(32MB ～ 2GB)/USB(8GB まで)
再生可能フォーマット	JPEG/BMP/MP3(CBR/VBR)/WMA(CBR)/M-JPEG(avi)
対応言語	日本語 / 英語
電源	5V/1.0A 100 ～ 240V 50/60Hz(AC アダプタより給電)
消費電力	5W
搭載端子	USB 入力端子、SD/MS カードスロット
スピーカー	1W 2 基
動作温度範囲	−5℃～ 45℃
動作湿度範囲	5% ～ 85%(結露なきこと)
外形寸法	W 230 × D 30 × H 164 (mm)
重量	約 387g（本体のみ）
製品構成	・GHV-DF7C　本体　1 台 ・専用リモコン　1 個 ・スタンドバー　1 本 ・専用 AC アダプタ　1 個 ・リモコン用ボタン電池　1 個 　型番：CR2025 (3V) ・１年間保証書　1 部 ・取扱説明書（本書）　1 部

仕様および本機のデザインは、改良のため予告なしに変更することがあります。

故障修理について

故障・修理についてのお問合せは、下記のサービス窓口にてご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス　テクニカルサポート
URL	http://www.green-house.co.jp/
サポートダイヤル	03-5421-5749
受付時間	10:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00 （弊社営業日のみ）
FAX	03-5421-2266 (24 時間受付)
住所	〒153-0013　東京都渋谷区恵比寿 1-20-22　三富ビル 4 階

テクニカルサポートダイヤルの時間は、予告なく変更する場合があります。ご確認はホームページにてお願い致します。
サポートを受ける為にはユーザー登録が必要になります。当社ホームページよりご登録お願い致します。
ご使用上のご質問、お問い合わせは当社ホームページ内のお問い合わせフォームよりお願い致します。
(http://www.green-house.co.jp/support/index.html)